

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	多発性腎被膜下嚢胞：CT・MRI所見の検討
② 実施予定期間	実施許可日から 2029 年 3 月 31 日
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院で腹部 MRI を受けられた患者さんのうち、MRI で多発性腎嚢胞が認められる患者さん。
④ 対象期間	2016 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院
⑥ 対象診療科	全診療科（救命救急センターを除く）
⑦ 研究責任者	氏名 伊東 克能 所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	① 日常診療の記録から収集する項目：識別コード、年齢（MRI 検査時）、性別、現病歴、既往歴、血液検査結果（クレアチニン、eGFR）、MRI 画像、CT 画像 ② 本研究で検討する項目：MRI・CT のパラメータ、MRI における腎嚢胞の数、嚢胞と腎実質の信号値、腎臓のサイズ、単純 CT における嚢胞と腎実質の濃度、造影 CT における造影効果の有無、内部造影剤貯留の有無
⑨ 研究の概要	日常臨床のCTやMRI検査において、腎被膜下から腎皮質にかけて小嚢胞が多発する症例がまれにみられます。多発性腎被膜下嚢胞は通常の腎嚢胞（尿細管の拡張に伴うもので、大小不同で皮質から髄質にかけてアットランダムに分布する単純性嚢胞や透析に伴う嚢胞）とは異なり、嚢胞が腎皮質や腎被膜下に分布する特徴的な所見を呈しており、病理学的にBowman嚢の均一な嚢胞状拡張とされています。糸球体嚢胞腎症という稀少な嚢胞性腎疾患も含んでいると考えられますが、このような多発性腎被膜下嚢胞の頻度やCT, MRI所見に関するまとまった報告はほとんどありません。 本研究の目的は、腹部MRIを受けられたすべての患者さんのうち、多発性腎被膜下嚢胞を有する患者さんの頻度を探索し、そのCTおよびMRI所見を解析することです。対照群には、皮質から髄質にかけてランダムに分布する30個以上の腎嚢胞を有する患者さんを含めます。情報を収集する期間内に撮影された患者さんのうち、撮影時期が新しい順に30名を選び、解析に用います。多発性腎被膜下嚢胞の画像所見を明らかにすることは、腎嚢胞性疾患の多様性を理解する

	上でも重要と考えられます。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2025 年 8 月 26 日		
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：河野 洋佑			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285